

I ヴィクトリア朝期のある人物に関する次の文章を読んで、問1～問9に答えなさい。解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

伝記作家のリットン＝ストレイチーは、『ヴィクトリア朝偉人伝』（1918年）のなかで、A ヴィクトリア朝期の4人の「偉人」の一人として、軍人の（ a ）を取りあげている。

1833年に生まれた（ a ）は、陸軍士官学校を卒業した後、クリミア戦争のセヴァストーポリ包囲戦で活躍した。清との間にアロー戦争が勃発すると、中国に派遣され、キリストの弟を自称する（ b ）を指導者とする B 太平天国の乱を鎮圧するために、C 清軍に協力した。

その後、スーダン総督等を務めて1880年にイギリスに戻った後は、D インド総督の私設秘書やモーリシャス島の工兵隊指揮官を転々とし、E ベルギー王からはコンゴ行きを勧められた。

F 最後の赴任地は、アフリカのスーダンとなった。スーダンでは、自らマフディーを名のる（ c ）が率いるイスラム教の一派が反乱を起こしていた。同じ頃、G エジプトでは、軍人のウラービーが反乱を起こし、（ d ）が首相を務めていたイギリスはこれを鎮圧して、エジプトを事実上保護国化した。（ a ）は、スーダンのエジプト軍の安全な撤退の任を与えられたが、反乱軍に包囲されて1885年に戦死した。援軍の派遣の遅れによって、国民的英雄を見殺しにすることになった（ d ）首相の評判は地に落ちた。

このように、H イギリスが世界を支配する時期にあって、世界各地で立ち上がる各抵抗主体を制圧する任を負った軍人が、祖国の栄光を担う国民的英雄になりえたのである。

問1 上の文中の（a）～（d）に入る適切な人名を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問2 下線部 A に関連して、以下の（1）、（2）に答えなさい。

（1） 次の1～5のうち、ヴィクトリア朝期のイギリスの出来事を4つ選んで年代の古い順に並べ替え、左から順に番号を記入しなさい。

1. カトリック教徒解放法が制定される。
2. 1815年制定の穀物法が廃止される。
3. 第1回万国博覧会がロンドンで開催される。
4. 第3回選挙法改正が行なわれる。
5. 労働組合を合法化する労働組合法が制定される。

（2） ヴィクトリア朝期のイギリスでは、自由党と保守党の二大政党による議会制度が確立したが、次のア～ウの出来事は、どちらの政権下のものか。自由党政権下の出来事には、1を、保守党政権下の出来事には、2を、記入しなさい。

ア. アイルランド自治法案が2回提出されたが、いずれも議会で否決された。

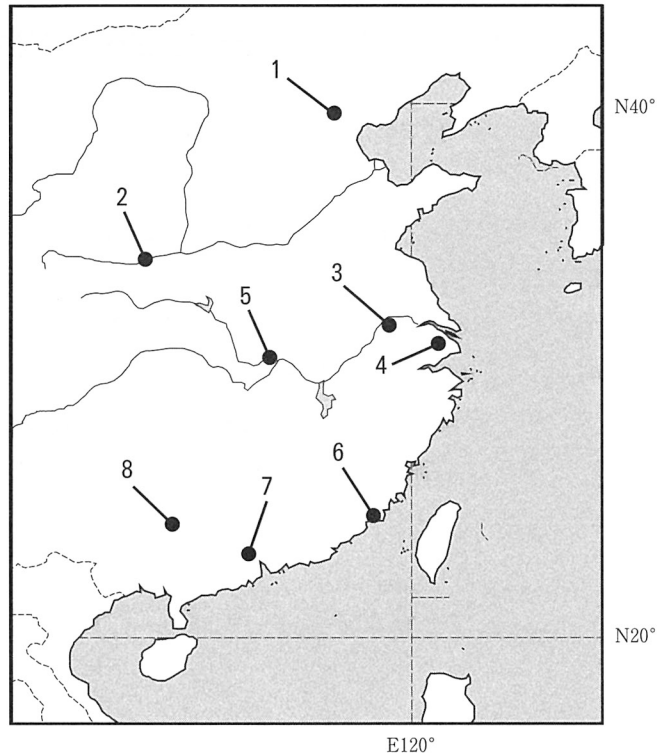
イ. ヴィクトリア女王がインド皇帝の座についた。

ウ. スエズ運河会社の株を買収して、運河の経営権をにぎった。

問3 下線部Bについて、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 太平天国が掲げた政策を、【解答欄B】の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

(2) 下のア、イに該当する場所としてもっとも適切なものを、次の地図上の1～8から選びなさい。



備考：国境線は現在のもの。

ア. 上の文中の(b)らが、1851年に挙兵して太平天国の起点となった場所

イ. 上の文中の(b)らが、1853年に太平天国の首都と定め、天京と名づけた都市

問4 下線部Cに関連して、次の1～4の中から誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. アヘン戦争後の中国では、太平天国以外にも、安徽の捻軍、雲南や陝西・甘肅のムスリム、貴州のミャオ族などが各地で反乱を起こした。
2. 清朝の正規軍である八旗は、満州族の血縁・地縁集団で組織され、モンゴルや漢の軍人を受け入れなかったため、19世紀にはすでに弱体化していた。
3. 清朝の正規軍に協力した郷勇は、漢人官僚が郷里で組織した義勇軍で、曾國藩が湖南で編成した湘軍、李鴻章が安徽で編成した淮軍などがその代表である。
4. 北京条約調印によってアロー戦争が終結すると、諸外国は清との関係を改善し、アメリカ人ウオードが上海で組織した常勝軍が、太平天国の鎮圧に協力した。

問5 下線部Dに関連して、インド大反乱を契機に、イギリスのインド統治の方法にどのような変化があったのか、次の3つの語をすべて用いて、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

藩王国 東インド会社 分割統治

問6 下線部Eに関連して、1884-5年のベルリン会議によって、ベルギー国王のコンゴ支配権が認められたが、この会議によって定められた植民地化の原則を、〔解答欄B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問7 下線部Fに関連して、次の文章を読み、以下の(1)、(2)に答えなさい。

フランスは、すでに1830年、(ア)が(a)に派兵し、この地を占領していた。1881年には(b)を保護国とし、サハラ砂漠を横断して紅海の出口の(c)に至るアフリカ横断政策をとった。いっぽうのイギリスは、エジプト、スーダンとケープ植民地を結ぶアフリカ縦断政策をとったため、1898年、両国が衝突する α ファショダ事件が起こった。この事件の後、両国の関係は改善し、1904年には英仏協商を結んでいる。

フランスは、さらに(d)に勢力を延ばしたが、それに対抗してドイツは、1905年に(イ)がタンジールに上陸し、1911年に β アガディールに砲艦を派遣した。イギリスがフランスを支援したために、1912年に(d)はフランスの保護国となった。

(1) 上の文章中の(ア)、(イ)に入る適切な人名を下の人名群1～8から選び、また(a)～(d)に入る適切な地名を下の地名群1～9から選びなさい。

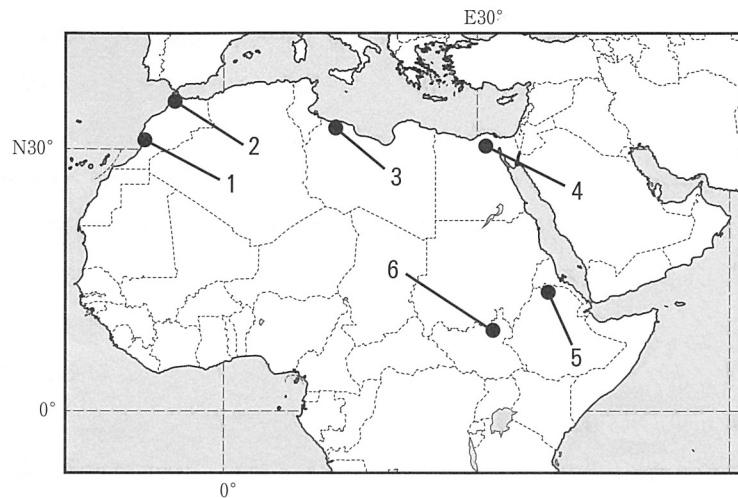
〔人名群〕

- | | | |
|-------------|--------------------|-------------|
| 1. ヴィルヘルム1世 | 2. ヴィルヘルム2世 | 3. シャルル10世 |
| 4. ナポレオン3世 | 5. フリードリヒ＝ヴィルヘルム1世 | 6. フリードリヒ2世 |
| 7. ルイ18世 | 8. ルイ＝フィリップ | |

〔地名群〕

- | | | | |
|-----------|-----------|---------|----------|
| 1. アルジェリア | 2. エチオピア | 3. ジブチ | 4. チュニジア |
| 5. ナイジェリア | 6. マダガスカル | 7. モロッコ | 8. リビア |
| 9. リベリア | | | |

(2) 上の文章中の下線部 α 、 β の場所としてもっとも適切なものを、次の地図上の1～6から選びなさい。



備考：国境線は現在のもの。

問8 下線部 G に関連して、19世紀のエジプトについて述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. オスマン帝国の属州であったエジプトでは、帝国からエジプト総督の地位を追認されたムハンマド＝アリーが、旧勢力の мамルークを一掃して、富国強兵策を推進した。
2. ムハンマド＝アリーは、オスマン帝国の求めに応じてワッハーブ王国とスーダンを征服したが、ギリシア独立戦争では英仏とともにギリシアを支援した。
3. シリア領有をめぐる、エジプトは、オスマン帝国と二度にわたって戦い、勝利したが、ヨーロッパ列強の介入により、シリアの放棄、軍備の縮小を強制された。
4. エジプトは、19世紀半ばには事実上オスマン帝国から自立し、スエズ運河の開削も行なったが、国家財政は破綻し、財政は英仏の管理下に置かれた。

問9 下線部 H に関連して、以下の(1)、(2)に答えなさい。

(1) 19世紀後半以降のイギリスの対外政策に関連する次の1～4の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. アフリカ南部では、南アフリカ戦争で、ダイヤモンドや金を産出する、オランダ系ブール人のトランスヴァール・オレンジ両国を併合した。
2. イランでは、イギリスの会社のタバコ販売利益独占に反対するタバコ＝ボイコット運動がスンナ派ウラマーを中心に展開されると、カージャール朝を滅ぼし、保護国化した。
3. 太平洋地域では、オーストラリアでアボリジニーを奥地に追いやり、ニュージーランドでマオリ人を武力で制圧し、また、ニューギニアの一部やフィジーを獲得した。
4. 東南アジアでは、海峡植民地を発展させてマレー連合州を結成させ、マレー半島南部と北ボルネオの支配権を確立するとともに、錫の利権を得た。

(2) 次の文章の (a) ~ (e) に入る適切な人名を下の人名群から選びなさい。(重複使用不可)

イギリスを中心とする帝国主義の時代には、それに反対する国際的組織もまた現われた。国際労働者協会(第1インターナショナル)が1876年に解散した後、1889年には第2インターナショナルが結成され、ドイツ社会民主党を中心に、フランス社会党、イギリス労働党などが協力した。これらの政党の成り立ちを、以下概観してみよう。

ドイツでは、国家社会主義者とも言われる (a) の流れをひく全ドイツ労働者協会と (b) らの指導するマルクス主義の社会民主労働者党が1875年に合同して、ドイツ社会主義労働者党が成立し、1890年にドイツ社会民主党と改称した。革命による社会主義の実現ではなく、議会主義的改革をめざす (c) らの修正主義も党内に現われた。1912年には帝国議会第一党となっている。第一次世界大戦後、社会民主党左派が組織したスパルタクス団を中心にドイツ共産党が結成されたが、指導者の (d) らは1919年に殺害された。

イギリスでは、改良主義的な社会主義団体フェビアン協会が設立され、(e) らの知識人が中心となって活躍した。この協会や労働組合等が、労働者独自の政党をもとめて、1900年に労働代表委員会を結成し、1906年に労働党となった。

[人名群]

- | | | | |
|----------|-------------|--------------|----------------|
| 1. オーウェン | 2. バクーニン | 3. バーナード=ショー | 4. プルードン |
| 5. ベーベル | 6. ベルンシュタイン | 7. ラサール | 8. ローザ=ルクセンブルク |

Ⅱ 中国社会に関する次の文章を読んで、問10～問13に答えなさい。 解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

A 中国社会は、16世紀から17世紀初頭にかけて、大きく変動していった。中国各地でつくられた物産が海外にも輸出されるようになり、主として（ a ）で購入されたために、中国には B 複数の産出地から（ a ）が流入した。 C その大量に流入した（ a ）が、中国の社会・経済にさまざまな影響を及ぼした。

問10 上の文章の（a）に入る適切な語を、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問11 下線部 A に関連して、朝貢体制とその動揺について述べた次の1～4の文章の中から、誤りを含む文章を1つ選びなさい。

1. 洪武帝は、民間商人の海上交易を禁止する海禁政策をとり、朝貢使節団にのみ入国と中国商人との交易を許す、政府管理の朝貢貿易を推進した。
2. 永楽帝の命を受けた鄭和は、バルトロメウ＝ディアスやヴァスコ＝ダ＝ガマの航海の約半世紀後に、大艦隊でインド、アフリカまで遠征し、諸国に朝貢をうながした。
3. 16世紀には、タタールのアルタン＝ハンがしばしば長城を越えて侵入し、中国人のなかにも長城の外でハンの保護を受ける者があらわれ、民間の交易がすすんだ。
4. 大陸の東南沿岸地帯で密貿易や略奪を行なう倭寇の活動は、16世紀に再び活発化し、その集団のなかには中国出身の王直なども含まれた。

問12 下線部 B に関連して、（a）が複数の産出地から中国に流入してくる経路について、産出地を含めて、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

問13 下線部 C に関連して、以下の（1）、（2）に答えなさい。

（1） 中国で16世紀に行なわれた税制の改革について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

（2） 16世紀の西ヨーロッパにおいても（a）は大量に流入して、その社会・経済に大きな影響を及ぼした。その影響について、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

Ⅲ 第二次世界大戦以後の冷戦体制の形成と終結について述べた次の文章を読んで、以下の問14～問22に答えなさい。
解答は、設問で指定された場合を除いて、すべて番号で解答用紙の〔解答欄 A〕の所定の欄に記入しなさい。

A ポーランドに侵攻したドイツに対してイギリス・フランスが宣戦布告して、第二次世界大戦が始まった。 各国は大戦中から B 戦後の平和構想や戦後処理などについての検討を重ねていったが、大戦後には、アメリカとソ連をそれぞれの中心とした C 冷戦体制が形成された。

アジアの一部では、東西両陣営の対立がとりわけ先鋭化して現われた。朝鮮では、米・ソによる分割占領を経て、(a) を大統領とする大韓民国と (b) を首相とする朝鮮民主主義人民共和国が分立してそれぞれ独立を宣言した後に、朝鮮戦争が勃発した。フランス領インドシナでも、D ベトナムが南北に分断された。 一方、E 大戦後に独立した国を中心に、第三勢力の形成をめざす動きも現れた。

1980年代後半以降、F 米ソ間の緊張緩和は本格化し、1990年代初めまでには G 冷戦体制は終結したが、H 地域紛争や対立は世界の各地域で続いている。

問14 上の文章中の (a)、(b) に入る適切な人名を、それぞれ漢字 3 字で、〔解答欄 B〕の所定の欄に記入しなさい。

問15 下線部 A に関連して、以下の (1)、(2) に答えなさい。

(1) ドイツは、領土に関する要求をポーランドが拒否したために、同国に侵攻した。この要求の具体的な内容を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。

(2) ドイツでナチ党が第一党になってから第二次世界大戦が勃発するまでの間に起きた次の 1～5 の出来事を、年代の古い順に並べ替え、左から記入しなさい。

1. イギリスの35パーセントの海軍力保有をドイツに認める英独海軍協定が結ばれた。
2. ドイツがオーストリアを併合した。
3. ドイツが国際連盟脱退を通告した。
4. ドイツがスロヴァキアを保護国にした。
5. 独ソ不可侵条約が結ばれた。

問16 下線部Bに関連して、次の資料1～4は、第二次世界大戦中に行なわれた諸会談によって作成された文書の一部を日本語に訳したものである（必要に応じて、文書の一部を省略した）。これらについて以下の（1）～（3）に答えなさい。

1

三大国……の指導者たちは、ドイツが降伏しヨーロッパにおける戦争が終結した後2ないし3カ月のうちに、（ α ）が以下の条件により連合国の側に立って対日戦争に参加することに合意した。……
第2条 1904年の日本による背信的攻撃によって侵害された旧権利は回復されるものとする。すなわち、……（ ア ）及びそれに隣接する島嶼部は（ α ）に返還されるものとする。……
第3条 （ イ ）は（ α ）に引き渡されるものとする。

2

三大連合国の目的は、1914年の第一次世界大戦の開始以来、日本が奪取または占領した太平洋におけるすべての島嶼を日本より剥奪すること、ならびに（ ウ ）、（ エ ）、澎湖諸島など日本が奪取したすべての地域を（ β ）に返還することである。……前述三大連合国は、……しかるべき時に（ オ ）に自由と独立をもたらさんと決意している。
三大連合国は……日本と交戦中の他の連合国と協調しつつ、日本の無条件降伏を確保するために必要な重大で長期にわたる作戦に引き続き精励する。

3

（1）われわれ……は、あわせて数億人に上るそれぞれの国民を代表して協議し、日本にこの戦争を終結する機会を与えることに同意した。……
（13）われわれは日本政府に対して、ただちに全日本軍の無条件降伏を宣言することと、その誠実な遂行を適切かつ十分に保証する措置を要求する。日本にとってそれ以外の選択肢は、迅速かつ完膚なき破壊である。

4

第1、両国は、領土であろうとそれ以外であろうと、いかなる拡大も求めない。……
第3、両国は、すべての人民が、彼らがそのもとで生活する統治形態を選択する権利を尊重する。……
第8、両国は、世界すべての国々が精神的のみならず現実的理由によって、武力行使の放棄に到達しなければならないと確信する。

（1）上の資料中の空欄（ α ）、（ β ）に入る適切な語を、1～4から選びなさい。（重複使用不可）

1. 合衆国（アメリカ） 2. ソヴィエト連邦 3. 中華民国 4. 連合王国（イギリス）

(2) 上の資料中の空欄 (ア) ~ (オ) に入る適切な語を, 1 ~ 9 から選びなさい。(重複使用不可) ただし, (ウ), (エ) の順序は問わない。

1. 沿海州 2. 九龍半島 3. 山東半島 4. 台湾 5. 朝鮮
6. 千島列島 7. 満州 8. 南樺太 (樺太南部) 9. 琉球

(3) 資料 1 ~ 4 にそれぞれ内容が記された諸会談が行なわれた時期を, 年代の古い順に並べ替え, 資料の番号で左から記入しなさい。

問17 下線部 C に関連して, 次の a ~ c の出来事が起きた時期を, 下の年表中の空欄 1 ~ 8 の中から選びなさい。(重複使用不可)

- a. 米・英・仏などがドイツ連邦共和国の主権回復を認めるパリ協定調印
b. 米・加・英・仏など12カ国が北大西洋条約調印
c. マーシャル国務長官がマーシャルプラン公表

1

チャーチル前首相が「鉄のカーテン」演説

2

トルーマン大統領がトルーマン=ドクトリン演説

3

コミンフォルム結成

4

ベルリン封鎖開始

5

ベルリン封鎖解除

6

ドイツ民主共和国の成立宣言

7

ワルシャワ条約機構結成

8

問18 下線部 D に関連して、次の 1～4 の文章の中から、誤りを含む文章を 1 つ選びなさい。

1. ベトナム独立同盟会を組織していたホーチミンは、ベトナム民主共和国の独立を宣言したが、フランスはこれを認めず、両国はインドシナ戦争に突入した。
2. フランスはバオダイを元首とするベトナム国を樹立したが、ディエンビエンフーの戦いに敗れ、ベトナム民主共和国とジュネーブ休戦協定を結び、ベトナムから撤退した。
3. ジュネーブ休戦協定の調印を拒否したアメリカは、ゴディン＝ジエムを大統領とするベトナム共和国を支援し、ゴディン＝ジエム政権が倒れた後も北爆や地上軍派遣など軍事介入を進めた。
4. ベトナムからの米軍の撤退が完了すると、ベトナム民主共和国と南ベトナム解放民族戦線はベトナム共和国の首都サイゴンを陥落させ、パリでベトナム和平協定を成立させた。

問19 下線部 E に関連して、次の 1～4 の文章の中から、誤りを含む文章を 1 つ選びなさい。

1. インド、セイロン等の首脳によるコロンボ会議で、アジア＝アフリカ会議の開催が提唱され、同年の周恩来・ネルー会談で平和五原則が発表された。
2. コロンボ会議の翌年にはバンドンでアジア＝アフリカ会議が、日本など20カ国以上が参加して開催され、平和五原則にもとづく平和十原則が採択された。
3. 中印国境紛争の終結後に開催された第 1 回非同盟諸国首脳会議では、インド・中国・エジプト・ユーゴスラヴィア首脳の発議でアジアの平和共存が宣言された。
4. アフリカで植民地の独立が続く中、アジスアベバで開催されたアフリカ諸国の首脳会議でアフリカ統一機構が結成された。

問20 下線部 F に関連して、1980年代後半から1990年代初頭にかけての次の 1～4 の事項を年代の古い順に並べ替え、左から記入しなさい。

1. ソ連軍がアフガニスタンからの撤退を完了
2. 米ソ首脳が INF 全廃条約調印
3. 米ソ首脳が START I 条約調印
4. 米ソ首脳がマルタ会談で冷戦終結を宣言

問21 下線部 G に関連して、1980年代末から1990年代初頭にかけての次の 1～4 の事項を年代の古い順に並べ替え、左から記入しなさい。

1. エリツィンがロシア共和国初の大統領に就任
2. ゴルバチョフがソ連初の大統領に就任
3. ソ連共産党解散
4. ソ連共産党の一部による 8 月クーデタ失敗

問22 下線部 H に関連して、1999年に NATO 軍がセルビア共和国に空爆を行なうに至った理由を、〔解答欄 B〕の所定の欄の範囲内で説明しなさい。